科目名: 看護技術の統合	必修	1単位(45時間)
(Integration of Nursing skill)		

履修年次/時期: 3年次 通年　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 永井 朋子

主担当教員詳細: 看護師5年7か月 看護基礎教育28年:実務経験から、学生がこれまで学んできた知識、技術を活用し、臨床をイメージした看護実践が考えられるよう授業を行っていく。

担当教員名: 眞田 英子、飯塚 雅子、久保 貴巳子、五百部 恵子、石井 一義、石川 智子、小原 聖子、北村 容子、久世 美帆、石井 玲子、相原 綾子、小松 由利絵

学修目的	臨地での看護実践力につながるよう、基本的な看護援助技術を中心としたシミュレーション学習を通して、医療安全、医療倫理、コミュニケーション能力など看護実践力に必要な知識と技術を再確認し、卒後看護実践の場で必要とされる実践力の基盤づくりを行う。 関連するCP: CP3,CP5,CP6　　科目No. KNz-402		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1. 統合的な知識と技術を活用し 、事例についての看護過程が展開できる。 2. 統合的な知識と技術を活用し、基本的な援助技術が実践できる。 3. シミュレーション学習を通して、対象に必要な看護援助技術を実践できる。 4. シミュレーション学習を通して、医療安全、医療倫理、コミュニケーション能力など看護実践に必要な知識と技術を再確認できる。 5. 授業全体を通して、卒後での看護実践の基盤づくりができる。		
授業概要	複数の課題を持つ患者への看護について、既習の看護技術や知識を駆使しながらシュミレーション学習を行う。卒業後を見越し、知識や技術をバランスよく外化できるような自己の成長につなげる。		
評価方法	課題の提出 60% 成果の確認 40%(確認テスト10点×3回、レポート10点) 評価に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5h 【復習】0.5h		
教科書	各看護学領域で使用する教科書		
参考書	必要時、授業の中で紹介する		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	永井 朋子 3号館3階研究室 t.nagai@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。		

実施回	第1回	実施日	2026/04/13 (月)	時限	2	班	
授業計画	科目ガイダンス ①授業の概要、学習方法について理解できる。 ②事例について対象理解を深めるために必要な内容を抽出できる。	予習	既習の学習を想起して対象理解、援助計画について復習する。				
		復習	事例の理解に必要な内容の学習を行う。病態関連図および援助計画を次回の授業までに仕上げる。				
		キーワード	シミュレーション学習、事例の理解				
授業形態	講義	担当	永井				

実施回	第2回	実施日	2026/04/20 (月)	時限	2	班	
授業計画	老年期の看護援助方法の実践－確認テストと対象理解 確認テスト:学習成果の確認 ①シミュレーション学習の前提となる病態の理解ができる。 ②事例の身体的状況を踏まえ、必要な援助計画が立案できる。 ③シミュレーション学習のイメージ化ができる。	予習	事例を理解するための学習をし、病態関連図および援助計画を仕上げてくる				
		復習	事例の理解をするための学習の不足があれば、追加する。授業を踏まえて援助計画を追加・修正する。 タスクトレーニングに積極的に取り組む。				
		キーワード	病態理解、フィジカルアセスメント				
授業形態	講義	担当	永井				

実施回	第3回	実施日	2026/04/27 (月)	時限	1	班	
授業計画	老年期の看護援助方法の実践－シミュレーションの実施 ①事例について立案した援助計画に基づきフィジカルアセスメントができる。 ＊A氏3日目の情報を提示する	予習	事例についての援助計画を仕上げ、タスクトレーニング、フィジカルアセスメントを実践するための準備をして授業に臨む。				
		復習	授業の内容を振り返り、援助計画の追加・修正を行う。必要なタスクトレーニングを行う。				
		キーワード	シミュレーション				
授業形態	演習	担当	○永井, 眞田, 飯塚, 久保, 五百部, 石井一, 石川, 小原, 北村, 久世, 石井玲				

実施回	第4回	実施日	2026/04/27 (月)	時限	2	班	
授業計画	第3回同上	予習	第3回同上				
		復習	第3回同上				
		キーワード	第3回同上				
授業形態	第3回同上	担当	第3回同上				

実施回	第5回	実施日	2026/04/27 (月)	時限	3	班	
授業計画	第3回同上	予習	第3回同上				
		復習	第3回同上				
		キーワード	第3回同上				
授業形態	第3回同上	担当	第3回同上				

実施回	第6回	実施日	2026/04/27 (月)	時限	4	班	
授業計画	第3回同上	予習	第3回同上				
		復習	第3回同上				
		キーワード	第3回同上				
授業形態	第3回同上	担当	第3回同上				

実施回	第7回	実施日	2026/04/30 (木)	時限	4	班	
授業計画	シミュレーションの振り返り グループワーク・発表会 ①これまでの学習を通して、学べたことについての振り返りができる。 ②次回のシミュレーションに向けての課題を明確にできる。 ＊シミュレーション実施後の振り返り、グループワーク、全体発表	予習	シミュレーションの経験を通して学んだことを整理しておく。				
		復習	授業を通して考えたことを次のシミュレーションで活用できるようにしておく。				

		キーワード	振り返り
授業形態	演習	担当	永井

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/07/27 (月)	時限	2	班	
授業計画	老年期の看護援助方法の実践ー事例の援助計画 確認テスト:学習成果の確認 ①変化した事例の病態を理解できる。 ②事例の身体的状況を踏まえ、必要な援助計画が立案できる。	予　習	事例の3日目の情報を読み、病態関連図および援助計画を仕上げて授業に臨む。				
		復　習	事例の理解に必要な内容の学習を行う。病態関連図および援助計画を次回の授業までに修正する。				
		キーワード	状態が変化した事例の理解、フィジカルアセスメント				
授業形態	講義	担当	永井				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/09/24 (木)	時限	1	班	
授業計画	老年期の看護援助方法の実践ーシミュレーションの実施 ①シミュレーション実施の準備ができる。 ②事例について、援助計画に基づき実践ができる。 ＊B氏の情報を渡す。	予　習	事例の援助計画の確認をする。援助方法について予習しておく。				
		復　習	授業の内容を振り返り、援助計画の追加・修正をする。				
		キーワード	シミュレーション				
授業形態	演習	担当	○永井,眞田, 飯塚, 久保, 石井一, 石川, 小原, 北村, 久世, 石井玲				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/09/24 (木)	時限	2	班	
授業計画	第9回同上	予　習	第9回同上				
		復　習	第9回同上				
		キーワード	第9回同上				
授業形態	第9回同上	担当	第9回同上				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/09/24 (木)	時限	3	班	
授業計画	第9回同上	予　習	第9回同上				
		復　習	第9回同上				
		キーワード	第9回同上				
授業形態	第9回同上	担当	第9回同上				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/09/24 (木)	時限	4	班	
授業計画	第9回同上	予　習	第9回同上				
		復　習	第9回同上				
		キーワード	第9回同上				
授業形態	第9回同上	担当	第9回同上				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/10/14 (水)	時限	1	班	
授業計画	複数患者の看護援助ーシミュレーションの実施 ①複数患者の優先順位を考え援助計画を立案することができる。 ②複数患者への援助実施ができる。 ＊レポート:「学習成果と今後の課題」 レポート書式:PC可、A4版、標準設定、10.5P、明朝体、表紙付き レポートは15回目の授業までに仕上げて授業に臨む。	予　習	B氏の病態関連図および複数患者の援助計画を立案してくる。				
		復　習	授業の内容を振り返り、不足していることの学習をする。援助計画を修正する。 シミュレーションの学習成果と今後の課題についてレポートを仕上げる。				
		キーワード	複数患者のシミュレーション				
授業形態	演習	担当	○永井,眞田, 飯塚, 久保, 石井一, 石川, 小原,　北村, 久世, 石井玲				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/10/14 (水)	時限	2	班	

授業計画	第13回同上	予　習	第13回同上
		復　習	第13回同上
		キーワード	第13回同上
授業形態	第13回同上	担当	第13回同上

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/10/15 (木)	時限	1	班	
授業計画	まとめ 確認テスト:学習成果の確認 ①授業の全体を振り返り学習成果と今後の課題がわかる。 ＊看護過程のファイルは授業終了時に提出 ＊レポート提出日　10月16日(金)12:00～12:40　永井朋子研究室	予　習	今までの学習成果の振り返りをして授業に臨む。				
		復　習	今後の課題についてどのように取り組むか、学習計画を立てる。				
		キーワード	学習成果、今後の課題				
授業形態	演習	担当	永井				